

令和3年3月市議会定例会
環境部
議案説明資料
(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和3年度環境部所管予算(案)総括表	1頁
2	海洋ごみ対策推進事業について	2頁
3	チームとやまし推進事業について	3頁
4	太陽光発電システム及び省エネ設備等導入補助事業について	4頁
5	燃料電池自動車導入補助事業について	5頁
6	えごま6次産業化推進事業について	6頁
7	SDGs推進事業について	7頁
8	国際展開支援事業について	8頁
9	PCB廃棄物の掘り起こし調査事業について	9頁
10	富山市斎場再整備事業について	10頁
11	カラス対策事業について	11頁
12	月岡緑町団地地域し尿処理施設の廃止について	12頁
13	資源物ステーション運営事業について	13頁
14	廃棄物分別回収推進事業について	14頁
15	ごみ集積場環境整備事業について	15頁
16	つばき園維持管理事業(施設の再整備)について	16頁

1 令和3年度 環境部所管予算(案) 総括表

【一般会計】

(単位：千円、%)

区分 予算科目(款・項)	令和3年度 当初予算(案) A	令和2年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A-B	増減率 A/B
環境部 合計	6,875,380	3,851,782	3,023,598	178.5
(款4) 衛生費	6,875,380	3,851,782	3,023,598	178.5
(項2) 環境衛生費	6,875,380	3,851,782	3,023,598	178.5

【海洋ごみ対策推進事業費】

2 海洋ごみ対策推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 8,942千円

財源内訳	県支出金（海岸漂着物対策事業費補助金）	6,259千円
	一般財源	2,683千円

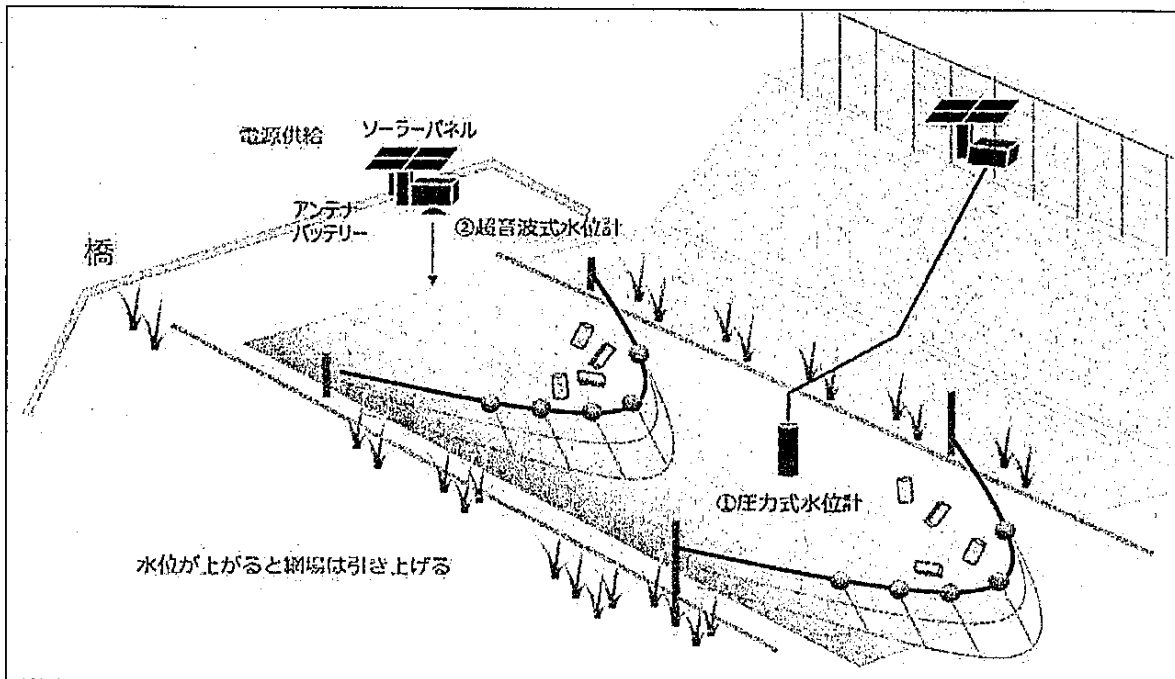
(2) 事業目的

海洋プラスチックごみ対策の一環として、市内の準用河川や農業用水に網場を長期間設置するなど、プラスチックごみ等の海への流出抑制対策を実施するもの。

(3) 事業内容

- ア. 網場の長期間設置及び効果検証
(センサーネットワークを活用した水位計の導入など)
- イ. 網場設置河川でのごみ発生、滞留状況の実態調査
- ウ. 海洋ごみに関する環境教育、普及啓発活動の実施

【センサーネットワークを活用した水位計 イメージ図】



【地球温暖化対策推進事業費】

3 チームとやまし推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 6, 165 千円

財源内訳	国庫支出金（地球温暖化対策推進事業費補助金）	3, 639 千円
	ふるさとぬくもり基金繰入金	2, 500 千円
	一般財源	26 千円

(2) 事業目的

脱炭素社会の実現に向け、市民、事業者、行政等が連携協力する市民総参加型のプロジェクト「チームとやまし」の取組みについて、地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」とも連携を図り、さらなる事業を推進するもの。

(3) 事業内容

- ア. COOL CHOICE 普及啓発事業費 3, 235 千円
身近な生活の中での「COOL CHOICE (=賢い選択)」をテーマとした関連イベント等を実施し、市民に一人ひとりが取り組む地球温暖化防止活動の大切さを周知するもの。
- イ. 緑のカーテン推進事業 475 千円
環境教育の一環として、保育所等に緑のカーテンを設置するほか、市民向けに「緑のカーテン育て方講習会」を開催し、緑のカーテンの普及啓発を図るもの。
- ウ. チームとやましホームページ改修費等 1, 594 千円
- エ. 事務費等 861 千円

【新エネルギー推進事業費】

4 太陽光発電システム及び省エネ設備等導入補助事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 23,440千円

財源内訳	一般財源	23,440千円
------	------	----------

(2) 目的

家庭から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅等への再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー化を推進するもの。

(3) 事業内容

自然エネルギー等を利用した住宅用設備の設置者に対して補助を行う。

なお、住宅用太陽光発電システムとあわせて、エネファーム、蓄電池を新たに一括して設置した場合には、5万円を加算して補助するもの。

	補助対象設備	補助金額 (1件)
1	住宅用太陽光発電システム(2kw以上)	5万円
2	太陽熱利用システム (水や不凍液などを熱媒として熱交換を行う設備)	3万円
3	ペレットストーブ(木質ペレット燃料使用)	5万円
4	エネファーム(家庭用燃料電池)	5万円
5	蓄電池	5万円
6	地中熱利用システム (地中と外気との温度差を利用する空調設備)	10万円

※HEMS(家庭用エネルギー管理システム)は、令和2年度分で終了。

[参考] 補助実績

(単位:件)

	設備名	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 (1月末現在)
1	住宅用太陽光発電システム	399	247	236	254	153
2	太陽熱利用システム	0	0	1	0	0
3	ペレットストーブ	16	17	25	25	15
4	エネファーム	52	85	73	33	28
5	蓄電池	46	61	106	134	130
6	地中熱利用システム	0	0	0	0	0
7	一括導入上乗せ加算	—	1	11	9	2

【新エネルギー推進事業費】

5 燃料電池自動車導入補助事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 2,000千円

〔財源内訳 国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）
2,000千円〕

(2) 事業目的

令和2年10月に、国が、「2050年カーボンニュートラル」を宣言したことを踏まえ、水素社会の実現に向けて、水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）の普及促進を図っていくもの。

(3) 事業内容

燃料電池自動車導入補助金（4台分） 2,000千円

[参 考]

区 分	国補助額（定額）	県補助額（定額）	市補助額（定額）
トヨタ「ミライ」	1,173千円	500千円	500千円
ホンダ「クラリティ」	2,100千円	500千円	500千円
メルセデス・ベンツ「GLC」	2,018千円	500千円	500千円
ヒュンダイ「ネッツ」	2,105千円	500千円	500千円

【環境未来都市推進事業費】

6 えごま6次産業化推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 6,564千円

[財源内訳 一般財源 6,564千円]

(2) 事業目的

えごまの効能及び「富山えごま」ブランドの認知度を高めるための情報発信や試食会等のイベントを実施し、普及啓発を図ることにより、えごまの6次産業化を推進するもの。

(3) 事業内容

- ア. えごま6次産業化プラットフォーム推進業務 6,000千円
 - ・市民向け普及啓発イベントの開催
 - ・SNS等を活用した認知度向上のための情報発信

- イ. えごま普及啓発のための 564千円
 - ・広報とやま特集号掲載
 - ・物産展におけるプロモーション事業

【SDGs推進事業費】

7 SDGs推進事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 47,952千円

財源内訳	国庫支出金（地方創生推進交付金等）	21,000千円
	ふるさとぬくもり基金繰入金	1,000千円
	一般財源	25,952千円

(2) 事業目的

富山市SDGs未来都市計画に位置付けられた取組みのフォローアップを行うとともに、関連事業及び普及啓発事業等について継続的に取組みを行うもの。

(3) 事業内容

- ア. SDGs関連業務委託 42,500千円
- ・地域循環共生圏モデル構築事業
 - ・果樹選定枝等バイオマス利活用実証事業
 - ・セルロース化技術を活用した産業イノベーション創出実証事業
 - ・SDGs普及啓発展開事業
 - ・婦中体育館における自立・分散型エネルギー設備導入効果検証業務
- イ. SDGs未来都市計画のフォローアップ 3,000千円
- ・富山市SDGs未来都市計画のフォローアップ及びブラッシュアップ
- ウ. 富山市SDGs推進事業補助金 1,000千円
- ・企業、団体等によるSDGs推進事業への補助
- エ. その他関連業務 1,452千円
- ・内閣府主催SDGs関連会議等への出席旅費
 - ・普及啓発パンフレット等の作成
 - ・広報とやま特集号掲載 等

【国際展開事業費】

8 国際展開支援事業について

[環境政策課]

(1) 予算額 5,075千円

財源内訳	諸収入（JICA中小企業支援事業）	3,106千円
	一般財源	1,969千円

(2) 事業目的

「SDGs 未来都市」として国際連携を推進するため、独立行政法人国際協力機構（JICA）の事業を活用した市内企業の技術・ノウハウの海外への普及・展開を支援することで、国外の都市が抱える課題解決を図るもの。

(3) 事業内容

市は、JICA普及・実証事業が円滑に行えるよう、現地政府機関や関係者との交渉窓口として調整を図ることにより、市内企業を支援するもの。

- ・廃棄物処理展開支援事業 [インドネシア・タバナン県] 5,075千円
ごみ処分場の容量不足や衛生問題を解消するため、有機廃棄物の堆肥化プラントを導入し、生ごみから良質な堆肥を製造して農業に活用するもの。

【産業廃棄物処理対策推進費】

9 PCB廃棄物の掘り起こし調査事業について

[環境政策課]

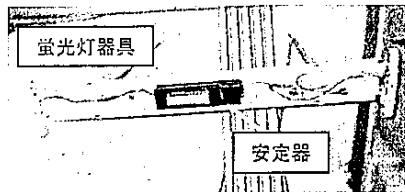
(1) 予算額 6,768千円

〔 財源内訳 一般財源 6,768千円 〕

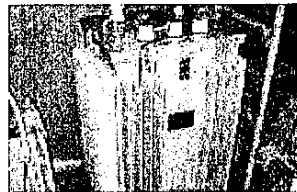
(2) 事業目的

ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法により、高濃度PCB廃棄物及び使用製品を保有する事業者は、定められた期限までに全て処分しなければならないとされているため、該当する事業者を把握し、期限内にPCB廃棄物を確実に処分するよう指導するため、国が定める「PCB廃棄物等の掘り起こし調査マニュアル」に従い、富山市内の事業者に対して掘り起こし調査を実施するもの。

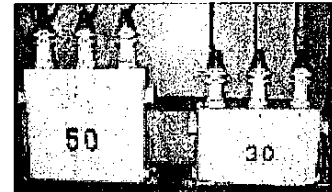
PCBとは、人工的に合成された主に油状の物質で、蛍光灯安定器や変圧器、コンデンサー等の電気機器の絶縁油として使用されていたが、有毒性が判明し、現在は製造が禁止されている。



蛍光灯安定器



変圧器



コンデンサー

(3) 事業内容

ア. PCB廃棄物の掘り起こし調査（照明器具の安定器等）

内 容 令和2年度に実施した調査において、未回答の事業者等に対するフォローアップ調査として、必要書類の送付、コールセンターの設置を実施し、回答率の向上を図る。

対 象 市内事業者（約1,400件）

調査方法 ・調査対象リストの整備 ・調査票の印刷、発送
・コールセンターの設置 ・調査票の回収
・未回答者への督促はがきの発送 ・未回答者への督促架電

イ. 未回答者等への最終通知の送付

内 容 ①の調査において、回答がなかった事業者等に対して、「PCB廃棄物等の掘り起こし調査マニュアル」に従い、最終的な通知文書を送付する。

【斎場管理費】

10 富山市斎場再整備事業について

[環境保全課]

(1) 予算額 3,029,346千円

{	財源内訳	市債	2,841,700千円
		使用料	17,061千円
		一般財源	170,585千円

(2) 事業目的

著しく老朽化が進む富山市斎場について、将来にわたり支障なく火葬業務が実施できるようPFI手法を用いて再整備を進めるもの。

(3) 事業内容

PFI事業者が整備した新富山市斎場を取得し、令和3年9月から供用を開始する。

ア. 新富山市斎場購入費 2,937,686千円

イ. 新富山市斎場管理運営委託費（指定管理） 87,531千円

ウ. その他事務費等 4,129千円

(4) スケジュール

	令和3年					令和4年			
	~8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~
新斎場新築工事	→ 新斎場の一部供用開始								
旧斎場解体工事		→							
新斎場外構工事				→ 新斎場の全部供用開始					

【環境保全事務費】

1 1 カラス対策事業費について

[環境保全課]

(1) 予算額 28,315千円

財源内訳 一般財源 28,315千円

(2) 事業目的

都心部では、夕暮れ時に多くのカラスが群舞する光景やふん害がみられ、都市景観の悪化が懸念される。このことから、カラスの個体数を減少させるため、引き続き、都心部のカラスの捕獲に重点的に取り組み、都市のイメージアップを図る。

(3) 事業内容

ア. 市民への啓発 121千円

ごみ集積場の適正管理や収穫しない野菜等を放置しないなど、カラスの餌を減らす対策について、広報での啓発を行う。

イ. 檻による捕獲等業務委託 25,926千円

令和2年度に城址公園周辺で実施した、カラスの鳴き声発生装置による誘導捕獲実験に一定の効果があったことから、鳴き声発生装置を3台から6台に増設し、檻による捕獲を強化する。

ウ. 生息数調査等 2,268千円

カラス対策の効果を検証するため、城址公園周辺のカラスの生息数調査を行う。

〔参 考〕 捕獲実績と生息数調査結果

(単位:羽)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
捕獲数	1,672	945	1,525	1,672	965	607	2,027	2,330	2,704	2,595
生息数	6,538	7,500	6,568	4,482	3,991	3,330	3,611	3,070	4,622	調査中

※令和2年度の捕獲数は令和3年1月末現在である。

【地域し尿処理施設費】

1 2 月岡緑町団地地域し尿処理施設の廃止について

[環境保全課]

(1) 予算額 48,572千円

財源内訳	一般財源	48,572千円
------	------	----------

(2) 事業目的

事業再点検チームによる検証結果に基づき、地域し尿処理施設（月岡緑町団地、新保地区、新保南地区）を上下水道局に一元化するため、まずは、昭和58年の処理開始から37年が経過し、老朽化の著しい月岡緑町団地地域し尿処理施設を公共下水道に接続し、令和3年3月31日に廃止することから、施設の解体に向けて必要な業務を行うもの。

(3) 事業内容

処理施設内に残存する汚泥から悪臭が発生しないよう対策を講じながら、汚泥の引抜き及び清掃業務委託と解体実施設計業務委託を行う。

ア. 汚泥引抜き及び清掃業務委託	25,245千円
イ. 解体実施設計業務委託	19,924千円
ウ. その他事務費	3,403千円

【ごみ減量化・資源化推進事業費】

1 3 資源物ステーション運営事業について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 15,061千円

財源内訳	諸収入（古紙売却収入等）	7,128千円
	一般財源	7,933千円

(2) 事業目的

資源物の排出機会の拡大を図るため、土曜、日曜及び祝・休日に持ち込める資源物ステーションを市内8か所に開設し、ごみの減量化・資源化を推進するもの。

(3) 事業内容

資源物ステーションにおいて回収する品目（11品目）

空き缶・空きびん・ペットボトル・プラスチック製容器包装
紙製容器包装・新聞・雑誌（雑紙）・段ボール・布類（衣類のみ）
小型廃家電（パソコン含む）・水銀使用製品（蛍光管、体温計等）

- ア. 資源物ステーションの運営 7,933千円
・受付員業務委託費及び集積倉庫借上料等
- イ. 布類リユース処理業務委託 1,017千円
・衣類を「ウエス」としてリユースする。
- ウ. 小型廃家電処理業務委託 5,583千円
・使用済み小型電子機器を鉄やその他金属などにリサイクルする。
- エ. 水銀使用製品の処理業務及び運搬委託 528千円
・蛍光管等をガラスやアルミなどにリサイクルする。

【廃棄物分別回収推進事業費】

1 4 廃棄物分別回収推進事業について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 673,613千円

財源内訳	諸収入（資源有価物広域圏売却収入等）	59,628千円
	一般財源	613,985千円

(2) 事業目的

家庭から排出されるごみと資源物を分別回収し、ごみの適正処理と資源物の再生利用を図り、循環型社会の構築を推進するもの。

(3) 事業内容

- ア. 回収専用容器購入費等 4,936千円
- イ. 収集運搬委託料 668,677千円

回収内容等

廃棄物の種類		収集回数	収集主体
燃やせるごみ		週2回	直営・委託
燃やせないごみ		月2回	直営・委託
資源物	空き缶	月2回	直営・委託
	空きびん	月2回	委託
	ペットボトル	・拠点回収（随時） ・ステーション （月2回～月4回）	委託
	プラスチック製容器包装	月4回	委託
	紙製容器包装・古紙	月1回	委託

【地域環境美化推進事業費】

15 ごみ集積場環境整備事業について

[環境センター業務課]

(1) 予算額 10,000千円

財源内訳 一般財源 10,000千円

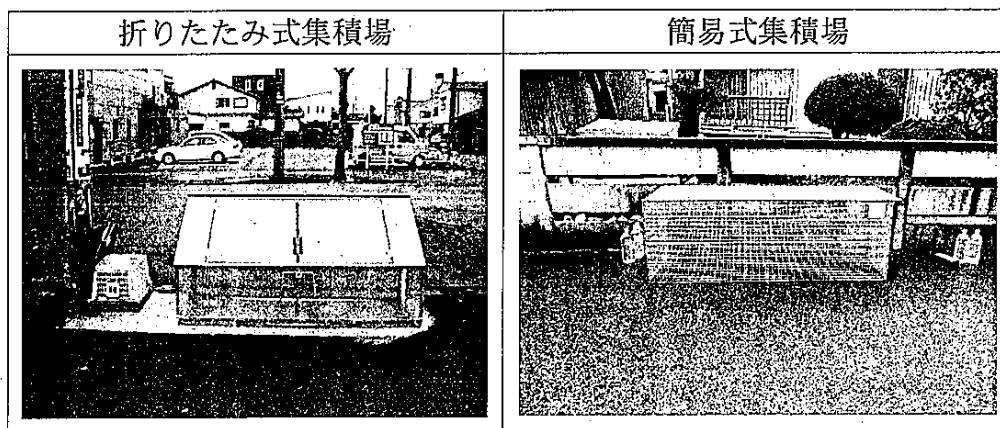
(2) 事業目的

ごみ収集作業の効率化及び、カラスの餌となるごみの散乱の防止等、生活環境の保全を図るため、固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置並びに、簡易式ごみ集積場の購入に対して、補助金の交付を行うもの。

(3) 事業内容

固定式・折りたたみ式ごみ集積場の設置や簡易式ごみ集積場を購入した場合に補助率2分の1（限度額有）の補助金を交付するもの。

種類		補助限度額 (1箇所あたり)	予算額
固定式	新設	200千円	6,000千円
	統合	300千円	900千円
折りたたみ式		100千円	2,000千円
簡易式		10千円	1,100千円



〔参考〕補助実績

(単位：箇所数・基数)

種類		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
固定式	新設	45	37	32	29	26	11
	統合	3	2	4	5	5	4
折りたたみ式		36	32	37	32	11	13
簡易式		—	—	15	84	72	72

※令和2年度の実績数は、令和3年1月31日現在

【つばき園費】

16 つばき園維持管理事業（施設の再整備）について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 87,195千円

財源内訳	市債（一般廃棄物処理事業債）	51,300千円
	一般財源	35,895千円

(2) 事業目的

つばき園（浄化槽汚泥専用処理施設）は、竣工から30年が経過し、老朽化が進んでいることから、昨年度、施設整備基本構想を策定し、現在の敷地内での建替えや、処理能力・処理方式を見直しダウンサイジングを図る等の整備方針を定めており、令和6年度早期の供用開始にむけ、各種の業務を実施するもの。

(3) 事業内容

ア. 発注支援及び生活環境影響調査業務委託	18,500千円
イ. 整備工事実施設計業務委託	32,800千円
ウ. 整備工事実施設計審査支援業務委託	3,724千円
エ. 下水道管渠敷設工事測量調査・設計業務委託	12,118千円
オ. あいの風とやま鉄道横断用さや管敷設工事測量調査・設計業務委託	20,053千円

(4) スケジュール

業務内容	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
基本設計（調査・測量含む）	→				
発注支援・生活環境影響調査		→			
整備工事設計・施工			→	→	→ 供用開始
下水圧送管敷設工事設計・施工		→	→		
鉄道横断用さや管敷設工事設計・施工		→	→		